



関川村

第63号

議会だより

平成18年5月1日

発行/関川村議会

発行/議長 近良平
責任者

編集/広報対策
特別委員会

〒959 3292 新潟県岩船郡関川村大字下関912番地

TEL(0254)64-1494(直通)
FAX(0254)64-3006



今日からみんなの仲間入り
よろしくお願ひします！

H18.4.5 土沢小学校入学式

3月定例会

一般質問 5名登壇

予算審査特別委員会

村民の声

(議会だよりは村ホームページの議会事務局に掲載しています)

《3月定例会》

平成18年度 一般会計予算 42億7,500万円

前年度比 1.5%減

第二回定例会が、三月八日から二十二日まで十五日間の会期で開かれました。

初日は村長が、平成十八年度の施政方針を行い、引き続き五議員の一般質問があり、理事者の考えを聞きましました。

提案された議案は、報告一件、承認二件、補正予算九件、条例の制定二件、条例の一部改正十二件、指定管理者の指定一件、人事案件一件、平成十八年度当初予算十一件、陳情六件で、いずれも可決、同意、採択されました。

平成十八年度の当初予算は、予算審査特別委員会（大沼久夫委員長）を設置し、二つの分科会に分かれて審議されました。

なお、各分科会で審議を行った内容は、六・七ページに掲載しています。

国民保護のための条例制定

国は、平成十六年に武力攻撃事態などにおける国民の保護のための措置に関する法律を制定しました。これは、有事の際に国民を守るための措置を行うためです。

また、国民の保護に関して広く意見を求め、国民保護に関する施策を組織的に推進するため、国民保護協議会の設置も義務づけられています。

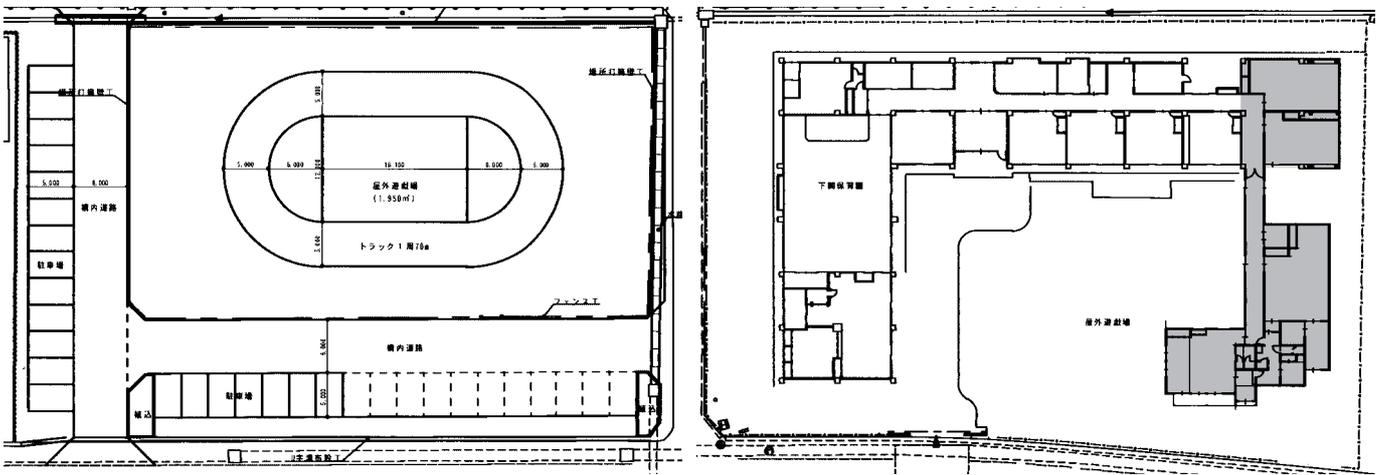
村でもこれらに対応した、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例と、国民保護協議会条例を制定しました。

特別職・議員報酬減額

人事院勧告に基づき、職員給与が平成十八年四月一日から減額されました。また、特別職等の報酬も特別職報酬等審議会の答申を受けて、四月一日から左表のとおり減額されました。

新旧対照表

職名	改定額	改定前	引下額	引下率
村長	680,000円	710,000円	30,000円	4.22%
助役	537,000円	557,000円	20,000円	3.59%
収入役	508,000円	528,000円	20,000円	3.78%
教育長	462,000円	475,000円	13,000円	2.73%
議長	255,000円	265,000円	10,000円	3.77%
副議長	183,000円	190,000円	7,000円	3.68%
常任委員長 議会運営委員長	173,000円	180,000円	7,000円	3.89%
議員	166,000円	173,000円	7,000円	4.05%



下関保育園整備事業計画案

将来の保育園の統合を視野に、下関保育園の保育室と調理室の増築を行う予定です。それに伴い、新しいグラウンドを整備し、駐車場も新設する予定です。(保育園整備事業費として、1億9,253万円計上)



道の駅周辺整備計画図

道の駅周辺再整備計画

道の駅周辺再整備計画として、昨年度は塀の取り払いと、自然環境管理公社の倉庫兼車庫の移動を行いました。今年度は築山の一部を削り、水車小屋周辺までの道路を整備する予定です。また今後、物産・観光インフォメーション施設、足湯の整備、駐車場の拡大を計画しています。(道の駅周辺整備事業費として六千万円計上)

自立に関する検討特別委員会調査報告書

「関川村自立計画」「財政シミュレーション」等に基づき、理事者の出席を求めて、四回の会議を開催しました。

調査の結果

自立に向けての重要課題は財政である。今まで以上に効率的な財政運営を図らなければならない。自立を続けていくうえで新しい村づくりの施策や考え方を、より一層村民に理解を深めてもらい、一体となって取り組むべきである。

調査の中で委員から出された多くの意見等は、今後、関川村議会の本来の使命として検討を続けなければならない。

予算審査特別委員会で修正案否決

わかぶな高原スキー場土地賃借料については、村とスミコ・リゾートの土地賃借借契約書では、二十年間、賃借料を年額三百四十六万円とし、会社から村へ支払うこととなっています。現在のスキー場の経営は、スミコ・リゾートを改称した、わかぶな高原が行っています。同社については、平成十七年度減額補正で土地賃付料の免除が提案され、賛成多数で可決されました。平成十八年度当初予算についても、「わかぶな高原スキー場」からの土地賃付料収入が計上されていなかったため、契約どおりに計上すべきと、修正動議が提出されましたが、反対多数で否決されました。

平成18年 一般質問 第2回定例会



特別職・一般職員の 削減時期を早めよ 近 辰美 議員

近 辰美議員 平成十七年十一月作成の「関川村財政の将来見通し」では、人件費面では議員定数を次期改選の平成十九年八月に二名減の十二人に、その四年後には更に二人減らし十人にするとなつてゐる。農業委員会については、今年の七月から五人減の九人とする事が決定している。この計画が大賛成である。

常勤の特別職では収入役は現在そのまま空席にし、五年後には助役も空席、さらに教育長は非常勤にする計画である。村長は二期目であり慣れてきているので、助役が居なくてもやれると思うが、助役、教育長については、五年後といわずに任期の切れる来年三月末に早める考えはないか。平田大六村長 現在の時点で村は大きな課題を持っている。それには助役、教育



長という立場で、この課題に取り組んでいくことが必要であると考えている。自立に向けた各論の実施や、小学校の統合の準備などが

津野庄衛議員 本村のごみは、朝日村松原の処分場へ運び処分している。収集委託料や岩船地域広域事務組合の負担金など一億四千万円の多額の費用になつてゐる。生ごみの減量化を提言する。それには、家庭や保育園、学校給食等の事業所から排出されるごみをゼロにする事である。生ごみをゼロにすれば、委託料の三十六％が減額になる。ご

あるので、助役、教育長を減らしていく考えはない。近 議員 国も地方も財政危機に直面しており、削減計画に必死に取り組んでい

み減量化のため、生ごみを出さない工夫をして、軽量の節減に努めたいが村長の所信をうかがいたい。平田村長 ごみ全体量を減らすことを村民運動的な考え方で進めなければならぬ。基本は発生源で減らすことが重要。それには、家庭から生ごみを出さない工夫であり、コンポストの普及、EM菌による減量、電動機による処理などの補助

る。関川村は自主財源が二十三％くらいで、自立していくには住民に我慢をしてもらい、サービスを低下させるか、経常経費のうち一番ウエートの大きな人件費を削るしか方法はない。本村の一般職員の定数を八年後に、百二十三人から百人に減らす計画であるが、他町村から見るとまだ多いと思う。八年後などと悠長な

事業を進めてきた。推進のため一層PRに努めたい。津野議員 道の駅周辺整備計画の進捗状況と今後の課題について、次のことを提言する。ゆゝむ付近に大型観光バスが駐車できるようにする。ゆゝむの客単価を上げる工夫をする。物産館や観光インフォメーションなど施設の充実。堀と柳通りの道路整備と経済効果を上げるための郷蔵等の活

生ごみゼロ運動を 道の駅周辺整備は

津野庄衛議員

用 知名度を上げる宣伝などの方策は。平田村長 整備計画は、年間十万人の人の流れを下関集落内の商店街へも誘導したい。塀を取り払い、倉庫を移動、築山のならしなどをした。本年度は、中央の築山の一部を削って水車小屋までの道路整備。中央部に交流を中心にした特産品の紹介、販売などの拠点づくりの構想がある。地元には「米沢街道撞木の会」、「下関・堀と柳通りの会」、「関川学」などの住民グループもある。これらの力を借りたいと考えている。



渡辺健作議員 わかぶな高原スキー場の地権者に、村との土地貸借契約は、平成十九年六月までとなつていますが、それ以降について再契約するのか、撤退して現状復旧するのか。

平田村長 スキー場の果たした役割は大きいと評価している。平成十九年六月以降は再契約せずに、現状回復を図り、地権者に返還する方向で考えている。

渡辺議員 蕨野の村道買い戻しについて、村を相手取り住民からの提訴記事と、口頭弁論で村側は請求棄却を求める答弁書を提出したと報道されたが、村民に詳しく説明を。

平田村長 新潟地方裁判所から村へ送られた訴状は、「村長は個人の平田大六に対し、土地取得額の六百六十万円を利子とともに支払うよう請求せよ」という

スキー場の今後は...

村道買い戻し訴訟

渡辺健作議員

こと。「村長は斎藤文彦に対し、平田大六と連帯し

て六百六十万円と利子を払うよう請求せよ。」訴



スキー場の総合評価 資産と経営を問う

山口和夫議員

山口和夫議員 わかぶな高原スキー場への村費支出と総合評価について。三井住友建設は、同スキー場経営の子会社スミコ・リゾート

の資産を関川村に、株式を「えちごせきかわむらづくり」にそれぞれ無償譲渡した。その後スミコ・リゾートは、「えちごせきかわむらづくり」の子会社となり、平成十七年一月に使用貸借契約を交わした。同年四月にスミコ・リゾートがわかぶな高原となり、社長も代わった。村長は同

山口和夫議員 わかぶな高原スキー場への村費支出と総合評価について。三井住友建設は、同スキー場経営の子会社スミコ・リゾートの資産を関川村に、株式を「えちごせきかわむらづくり」にそれぞれ無償譲渡した。その後スミコ・リゾートは、「えちごせきかわむらづくり」の子会社となり、平成十七年一月に使用貸借契約を交わした。同年四月にスミコ・リゾートがわかぶな高原となり、社長も代わった。村長は同



経営所得安定対策 村の支援策と対応

伊藤理助議員

伊藤理助議員 二〇〇七年産から導入される「経営所得安定対策」は、担い手や面積の要件、地域の合意形成と数々のハードルがある。

米政策改革推進対策、品目横断的経営安定対策、農地・水・環境保全対策、この三つのポイントがある。二〇〇七年からは担い手要件

を満たさないと交付金が出ないといわれている。担い手の認定農業者、農業生産法人や集落営農組織等においては育成確保が必要だが、

訟の費用は被告の負担とする」の三点である。この提訴を受けて弁護士に相談し、被告の村が裁判所に提出した答弁書は、「原告の訴えを棄却する」「訴訟費用は原告の負担とする」という判決を求めている。

総合評価は、開場してから十九年間は、村の宣伝などのイメージアップ、雇用などの経済の活性化、村内児童に対する教育効果、冬のスポーツとしての場や健康づくりなど役割は大きかった。現状回復はスキー場を開場する前に、関川村と住友建設で契約を結んでいる。その中で、期間内の現状回復の責任はすべて借り主が持つという契約になっている。これは今も生きている。四者合意の中でも現状回復は、契約年度内に三井住友が責任をもって行うことを確認している。村で現状回復するものもあるが、それは牧場の部分である。

短期間での確保は大変だと思ふ。今回の対策は未確定の部分も多く、今後も検討し、決定していかなくてはならず流動的である。情報と対応をしっかりと取っていたきたい。国が決定していない部分もあるが、村として二〇〇七年に向けてスケジュールがあれば聞きたい。村はJAとどんな対応を考えているか。村の支援策は説明会では農業委員会が入っているが、その意図は。平田村長 制度の説明会は終了し、理解していただいたと思う。今後は、集落営農に取り組もうとする集落や、担い手の要件を満たそうとする認定農業者に対し、県、JA、村、農業委員会が一体となって支援していく。また、四以上の経営規模を持ちながら、認定農業者になつていない方もいる。この人たちにも認定に向けて指導を行う。農業委員会を入れたのは、農地の調整が必要になるからである。村としても農業者の疑問に答えていくようにしたい。

平成18年度

予算審査特別委員会

委員長 大沼久夫 副委員長 渡辺秀雄

第一分科会

一般会計

歳入全款

問 老人保健事業諸検診受診料は昨年度より安くなったのか。

答 六十五歳以下の基本検診料は四百円下げ、できるだけ大勢の方に受診してもらうようにしました。

問 住宅費使用料が高いのではないのか。

答 国の住宅法に基づく住宅と特定公共賃貸住宅と村独自の住宅があり、それぞれの基準や入居者の所得により金額も変わります。

問 固定資産税が減額になった理由は。

答 固定資産税の家屋の償却資産と耐用年数による減額のためです。

問 税金の滞納額は。約四千万円で固定資産税が主です。

総務費

問 地下タンク検査委託料は高いのでは。

答 内訳として役場、村民会館、ゆくむ、むつみ荘、下関保育園、安角小学校、関川中学校を三年に一回検査しています。検査基準が厳しくなったため、役場、村民会館、ゆくむ、関川中学校以外の施設はホームタウンに替えることを検討しています。

問 村有財産管理費工事請負費の内訳は。

答 庁舎壁面タイルの落下防止工事百万円、郷土工芸センター撤去料三百八十万円です。

問 徴税費は税金に対してどれくらい入るのか。

答 約八パーセントです。

問 住民基本台帳カードの取得状況は。

答 現在十一名で十七年度登録者は三名でした。

民生費

問 下関保育園増築にかかる用地買収は済んだのか。

答 保育園敷地内に増築しますが、グラウンドは用地買収したところに新しく作り直します。予算に計上している用地購入費は、土地開発基金へ支払うものです。

問 下関保育園に新設するグラウンドは村道横断となるが安全対策は。

答 横断歩道を設け、園児の安全に努めます。

問 児童手当は年齢によって給付金額が違うのか。

答 年齢でなく扶養人数によりです。一人目と二人目が月額五千円、三人目以降一万円です。

問 老人ホーム等への入所待機者数は。

答 約六十八名です。

問 待機者への対応策は。

答 学校跡地を利用し小規模多機能型居宅介護サービス施設を、平成十九年度から進めたいと垂水の里園長から提案書がきています。

問 岩船地域広域事務組合負担金関川通所作業所運営費の内訳は。

答 関川通所作業所は、やまびこの家の分室となっており、やまびこの家分として約四十九万円、関川

通所作業所が約百二十九万円、他は起債償還金などです。

問 むつみ荘の運営組織変更の内容は。

答 十八年度から介護予防の拠点としてヘルパーなど三名程度を常勤とし、施設の管理も行います。

問 幼児、児童に対するインフルエンザ予防接種の補助は。

答 予防接種は、法律に基づいて行っていますので、子どもたちの予防接種は法定外接種であり、六十五歳以上は法に基づいたものです。少子化対策については、プロジェクトチームを作り検討していきます。

衛生費

問 河川水質検査委託料の調査河川は。

答 大石川の下川口地点、沼川の沼橋地点、赤谷川、鎌江沢川の大島と山本地点、女川は小和田と宮前と桂地点、藤沢川は二峰橋地点、前川、小綱木川の十一箇所です。

問 大腸菌のでている河川

は。答 全地点基準超過です。

問 生ごみ処理機の補助金の計上は。

答 むらづくり総合推進事業補助金に含まれています。

問 昨年度の生ごみ処理機の補助状況は。

答 コンポスト二台、電動生ごみ処理機三台です。

農林水産業費

問 国土調査の実施予定地は。

答 宮前地内です。

消防費

問 携帯電話の普及に伴い消防正副団長携帯電話補助金の見直しは。

答 昨年度は通話料に対し〇・五の補填をしていました。当初予算では半分の〇・二五の補填にしました。

お互い携帯電話を使うケースが多いためです。

問 大島集落で防災訓練が計画されているが、村からの助成は。

答 どのような形で支援できるかは計画を見て、支援

できる部分はします。

教育費

問 統合小学校の位置はどこにするのか。

答 まだ決定はしていませんが、通学やいろいろな利便を考えると人口の集まっ

ている下関であり、関小学校敷地を利用できないかと思っています。

問 中学校耐震調査委託料の内容は。

答 普通教室棟の調査ですが、補強工事設計委託料と内外装設計委託料も含まれています。

平均すると十アールあたり一万九千四百八十一円です。

問 畜産基地施設購入県償還金の元金はどれくらいか。

答 元金が二千二百二十万四千六百一十円で、その利息が一千五百六十八万八千八百四十八円、合わせて三千七百八十九万九千三百九十九円、平成二十一年まで二百二十万

とオートキャンプ場の共有地、それに国有林と観光看板の土地借上料です。

問 道の駅周辺整備事業は何年計画か。

答 何年計画ということではなく、できるだけ有利な補助制度を利用して整備を進めたいと考えています。

土木費

問 上新保集落入り口道路の拡幅は行わないのか。

答 用地の協力について、土地の調整を平成十八年度に行う予定です。

れました。

問 下関地区以外への宅地造成の考えはないか。

答 今後検討の余地はあると考えています。

関川村簡易水道特別会計

問 水質検査を行っている井戸は何箇所あるのか。

答 簡水は六箇所です。

関川村公共下水道事業特別会計

問 今後の加入促進に対する考え方は。

答 チラシの配布や区長会などで呼びかけを行っています。

関川村農業集落排水事業特別会計

問 下水管理設箇所は図面で整備されているのか。

答 台帳及び図面で整備しています。

関川村水道事業会計

問 停電の場合の対応は。

答 自家発電で対応しており、定期的に点検を行っています。

第二分科会

一般会計

衛生費

問 幾地集落の合併処理浄化槽の加入数は。

答 十七世帯中十一世帯が加入しており、加入率七十三パーセントです。

農林水産業費

問 畜産に対してのこれらの考え方について。

答 畜産は衰退してきていますが、村で畜産をやっている人達がいるかぎり、援

助をしていかなければならないと考えています。しかし、大々的に振興していくという考えはありません。

問 平成十七年度予算計上されていた子牛生産奨励金

畜産団地周辺環境対策費、畜産団地環境対策費が今回計上されていない理由は。

答 畜産振興対策事業補助金に含まれています。

問 松平畜産団地の契約はどのようになっているのか。

答 現在は、二年更新で地元との集落と協議をしながら契約をしています。

問 松平畜産団地の土地借上料は、十アールあたりどれくらいか。

答 借りた当時の現況に合わせて単価を設定しており、場所により単価が違います。

一千円の償還が生じます。

問 わかぶな高原牧場管理費の土地借上料は、牧場撤退の方針であれば、平成十八年度が最後の予算計上となるのか。

答 契約は平成十九年六月までなので、平成十九年度もその間の借上料は予算計上します。

問 牧場とスキー場は、併せて地権者から借りているのか。

答 契約は一つで、土地の借上目的が牧場とスキー場ということで契約しています。

問 観光施設管理費の土地借上料の内容は。

答 わかぶな高原スキー場

商工労働費

とオートキャンプ場の共有地、それに国有林と観光看板の土地借上料です。

問 道の駅周辺整備事業は何年計画か。

答 何年計画ということではなく、できるだけ有利な補助制度を利用して整備を進めたいと考えています。

問 関川村商工会への補助金の必要性は。

答 県補助金の見直しも行われているようですし、村補助金も減額をしていきます。必要性については、現在の指導員体制を維持していくためには必要と思われる。

問 ゆくむの水質検査の回数。

答 検査内容は、レジオネラ菌と大腸菌等の検査です。源泉湯は年一回ですが、大浴場は二カ月に一回、ジャグジーと露天風呂は三カ月に一回定期的に検査を行っています。

問 村内商業活性化事業補助金の内容は。

答 プレミアム商品券の補助金で、発行限度額が三千万円に対し、百五十万円を補助するものです。

特別会計

関川村宅地等造成特別会計

問 下関地区宅地分譲の販売状況は。

答 九区画のうち三区画売

関川村簡易水道特別会計

問 上新保集落入り口道路の拡幅は行わないのか。

答 用地の協力について、土地の調整を平成十八年度に行う予定です。

問 急傾斜地崩壊の防止工事は全て終わったのか。

答 まだ村内に防止工事を行わなければならない箇所がありますので、県の採択状況を見ながら、補正で対応したいと考えています。

問 上関地内正満寺脇上流排水路について、平成十七年度に調査を行ったが工事は行わないのか。

答 平成十八年度予算で関川中学校排水路改修と併せて行います。

問 三葉住宅解体工事後は更地にするのか。

答 更地にします。

関川村農業集落排水事業特別会計

問 下水管理設箇所は図面で整備されているのか。

答 台帳及び図面で整備しています。

関川村水道事業会計

問 停電の場合の対応は。

答 自家発電で対応しており、定期的に点検を行っています。

村民の声

「楽しい議会の傍聴」

小池 寿哉さん

(下 関)



今回は誰方が、どんな質問をされるだろう？と、私は毎回定例村議会がある度に、楽しみに傍聴に出かけます。昨年十一月二十二日の議会では、津野庄衛さんが「男女共同参画社会の推進を」として質問されましたが、私も兼ねてから関心をもっていたテーマでしたので、身近な問題としてとて嬉しく、身を乗り出して傍聴しました。

この件については「議会だより」六十二号に詳細に記載されておりますが、村長さんとしても常に女性の参画について努力してられることを知り、喜ばしく思っております。紙面の都合上多言は避けませんが、要は、女性の場合お願いしても引き受けてもらえない現状もあります。その後におっしゃっていたこのひと言につきるのではないかと思います。女性の方皆さん、頼まれたら、いや進んで各種委員会に参画しましょう。また、村歌についても、いくつかの論点があるようですが、大金をかけてまで

作る必要はありませんが、今ある「村歌」を村の歌として愛唱歌のつもりで、折りにふれ歌ったらどうでしょう。以前私達「童謡唱歌を歌う会」では、最後にいつも村歌を歌うことになっていました。そして新潟市のコーラス「ライラ」との交流会では一緒に歌って、「歌い易い良い歌ですね」と言っていたことが、今も印象深く耳に残っています。明るく住みよい関川村に育てましょう。



新しい監査委員が決まりました



高橋 眞雄さん(金俣)

前関川村監査委員高橋 兵右衛門さんの辞任にもない、後任に金俣の高橋 眞雄さん(六十六歳)の選任が三月議会定例会で同意されました。

《編集後記》

平成十八年度一般会計予算は、前年度より一・五パーセントの減額となり、経費節減の徹底が重要となります。

三月、四月は村内小学校、中学校の卒業式、入学式が行われ別れと出会いの季節でした。各学校ともそれぞれ素晴らしい式典を挙行され感動しました。特に関川中学校第一回卒業式の答辞で、二つの学校が統合したことで多くの友達との出会いがすばらしかったと、生徒の皆さんが一番喜んでくれたことが印象深く感じました。学窓を巣立っていった生徒達の行く末に幸多からんことをお祈りいたします。残念なことです。村内の各企業では多くの出会いがあったとは聞こえてきません。早急な景気回復が地方へも波及して、企業内にも多くの出会いがあるように願います。三月定例会には、区長さんをはじめ、多くの皆さんが傍聴くださりましてありがとうございます。今後とも多くの皆さんのおいでをお待ちしております。

渡辺(健)